

主日 野外礼拝式

説教 村上 定幸師

祈り	主の祈り
讃美	新聖歌 366
説教	「B面の歴史」
頌栄	新聖歌 63

今日の聖書

旧約聖書の創世記

26:34 エサウは、四十歳のときヘト人ベエリの娘ユディトとヘト人エロンの娘バセマトを妻として迎えた。

26:35 彼女たちは、イサクとリベカにとって悩みの種となった。
【メモ】

イサクとリベカ：アブラハムの子イサクは、リベカと結婚します。素晴らしい夫婦の象徴のように扱われる名前になっています。そして双子の子、ヤコブとエサウをもうけます。兄がエサウで、ヤコブは弟です。

エサウ：獣を捕えることを生業としていたと聖書には記録されています。賢い人でしたが、気が短く、短絡的に考える人だったことが分かります。リベカは、弟のヤコブの方を愛し、なんとか長男の権限をこのヤコブに与えたいと考えていました。あるとき、小さなこと、“疲れて死にそうだ、温かいスープをゆずってくれ”というで“長男の権威などどうでもいいや、お前にやる”とヤコブに誓ってしまいます。

ヘテ人：今のシリア地方にいた先住のカナン人で、外国人になります。ユデトもバセマトも、カナンの子に属するようです。このヘテ人の子孫ですが、イエス様の先祖になるウリヤも含まれます。

悩みの種：勝手に結婚してしまったエサウのことは、両親にとって悩みの種になりました。どうしようもない“トラウマ”という言葉が適当かも知れません。“毛深い”という言葉の意味するのがこのエサウという名です。マタイ福音書に出て来るヘロデ (マタイ、2章) はこの子孫になります。

主日礼拝式 (9月18日)

(聖霊降臨節第十五主日) 成人部会

司式：堀場兄 説教：村上師 献金：萩澤兄

奏楽：白井姉 讃美：新聖歌 23、366、188

聖書：『ルカによる福音書』14：7～14

説教：「喜びをもって捧げる」

ユース礼拝、司式：村上師、説教：前山姉

夕礼拝、聖書：『出エジプト記』23：10～13

366

正しくきよくあらし

[讃 452]

I would be true, for there are those who trust me
詞：HOWARD A. WALTER, 1883-1918

PEEK
曲：JOSEPH Y. PEEK, 1843-1911

た だ し く き よ く あ ら ま し な す べ
き つ と め あ れ ば お お し く つ
よ く あ ら ま し お う べ き お も に あ れ
ば お う べ き お も に あ れ ば アーメン

- | | |
|--|---|
| 1 正しくきよくあらし
なすべき務めあれば
雄々しく強くあらし
負うべき重荷あれば | 3 完全に向かいて進まん
途中にて気を緩めず
上なき目標を望み
笑みつつ絶えず進まん |
|--|---|

2 真実の友とならし
友なき人の友と
与えて心に留めぬ
真実の愛の人と

あらし=ありがたいものだ
ピリピ3：12 1ヨハネ4：7-8